

## 大龍寺歴史散策報告書

大龍寺は小礼法小笠原の祖、小笠原長時によって創建された桂山寺に始まる。保科正之が会津に転封の時に会津に移転され「大龍寺」と現在の寺号に改められる。小笠原長時の墓があり本堂には、長時の娘が愛用の人形や幽霊の足跡がある。会津戊辰戦争では、西軍ゆかりの寺として、負傷兵を看護する西軍病院として使われたことから、「戊辰戦争殉難殉節供養の碑」があり、山本家の墓もこの大龍寺にある。



大龍寺の前で西村会長のかけで“パ”刊”全員集合



参加メンバー(10名)で自己紹介とミーティング



竹林脇の階段を上り松隣閣(茶室)へ



若松城下が一望できる散策の小道。大龍寺 8000 坪のほんの一部  
ご案内のご内室がハーモニカで伴奏し渋い大人の「ふるさと」斉唱  
その後大声で「ヤッホー」コールも !!!



茶室から見える自然にあふれた座敷、「てくの坊」展示館では、骨董的価値のある書画もストックが多く一部が展示されています。ご紹介できない明治維新のお歴々の書画も見せていただいた。



会津鶴ヶ城の落城に伴う東軍西軍の調印式  
(この錦絵は当時のままで色鮮やか。自然の顔料は長持ちするとのこと。)



本堂内のふすまにある上り龍



照姫使用の籠(竹製)



ゆうれいの足跡1?



小笠原長時の娘が愛用の人形



目黒浄定作の庭園

## 大龍寺 山本家之墓



八重子夫人  
明治21年11月撮影



新島ご夫妻



昼食は大龍寺の近くにある「東山庵」。そばもカツどんもおいしい